

ふくしま百年基金
シンポジウム
2018

欲しい未来へ、寄付を贈ろう。

12 Giving
December
寄付月間 2018

社会的資金 最前線！

— これからの地域活動を支える新しい資金を考える —

2018. 12/15 (土)

13:00～17:00

(12:30開場)

コラッセふくしま 5階 研修室

申込方法：裏面をご確認ください

参加費無料 定員 90名

近年、遺贈寄附やふるさと納税等の新しい社会的資金に注目が集まっています。「終活」や遺贈寄附等の専門家、返礼品競争でない新しいふるさと納税の先進地から専門家をお招きし、共にこれからの地域活動について考えます。

—対象—

県内のNPO等地域活動団体、自治体関係部局、その他ご関心のある方

プログラム

第1部 ふくしま百年基金活動報告

第2部 社会的資金最前線！

①遺贈・相続寄附

プレゼンター：星野 哲 氏

(立教大学社会デザイン研究所研究員)

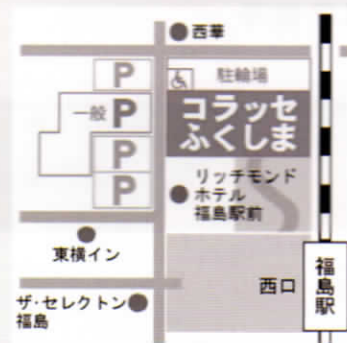
②ふるさと納税を活用したNPO支援

プレゼンター：岩永 幸三 氏

(佐賀県男女参画・女性の活躍推進課課長)

アクセス

- 住所
福島市三河南町1-20
- JR福島駅西口より徒歩3分
- 駐車場
コラッセ福島有料駐車場、及び
近隣有料駐車場あり



❄ プレゼンター 紹介



星野 哲（ほしの さとし）氏

立教大学社会デザイン研究所研究員

元朝日新聞記者。終活関連分野全般、特に人生のエンディングを社会でどう支えるかに関心があり取材・研究を続ける。社会的リソースとして寺の役割にも着目。著書に「終活難民－あなたは誰に送ってもらえますか」（平凡社）、「遺贈寄付 最期のお金の活かし方」（幻冬舎）、「『定年後』はお寺が居場所」（集英社）など。



岩永 幸三（いわなが こうぞう）氏

佐賀県男女参画・女性の活躍推進課課長

佐賀県庁の初代県民協働推進担当官。協働化テスト（協働の提案制度）、プロボノ、マッチングギフト方式による市民コミュニティ財団への補助、ふるさと納税のNPO等指定、NPO/NGOの誘致等に携わる。この他、「新しい公共」推進会議の専門調査会委員、地域に飛び出す公務員を応援する首長連合の初代事務局長を務めた。公務外では認定NPO法人日本IDDMネットワークで“資格無”のファンドレイザーとして18年目の活動中。

❄ 参加お申込み

申込フォーム

右記QRコードを読み込み、
フォームに沿って必要事項を
ご入力ください



URL : <https://goo.gl/forms/10AJ7kq5p9NEtJ4q2>

FAX申込書（FAX送付先：024-573-2641 一般財団法人 ふくしま百年基金 宛）

お名前（ふりがな）

ご所属

電話番号

メールアドレス

主催・お問合せ

一般財団法人ふくしま百年基金

所在地：福島県福島市清明町1-7
大河原ビル2階

MAIL : info@cf-fukushima.org
TEL : 024-573-2640

『ふくしま百年基金』とは？



『ふくしま百年基金』は180名（ネット募金を通じた寄附者はのべ1,763名）の地域住民や団体が寄附を持ち寄り設立した、福島県初のコミュニティ財団です。地域の困りごとを解決して魅力あふれる未来を作っていくための活動に資金助成や融資などを行ないます。

